

## 2013 年度 大学のアクティブラーニング調査 (教員の協働による課題解決型科目について)

### ■2013 年度の貴学科についてお答えください。

注) 学科ではなく、専攻、コースあるいは課程ごとに記入される場合にも、専攻・コース・課程欄にもご記入ください。

大学名 \_\_\_\_\_ 学部名 \_\_\_\_\_ 学科名 \_\_\_\_\_ (専攻・コース・課程 \_\_\_\_\_)

学科の1年生の定員 \_\_\_\_\_ 人 (専攻・コース・課程の1年生の定員 \_\_\_\_\_ 人)

学科設置年度 西暦 \_\_\_\_\_ 年度 (専攻・コース・課程設置年度 西暦 \_\_\_\_\_ 年度)

### ■ご回答いただいた方についてお答えください。

ご回答者	所属		(フリガナ)	
	役職		お名前	
ご連絡先	TEL		FAX	
	e-mail			
大学住所 (番地まで)	〒 _____			

※ ご記入いただいた個人情報は、ご回答内容に関する問い合わせ、及び、調査報告書の発送、及び、今回調査報告に関する案内のためのみに使用いたします。

## 本調査で対象とする「教員が協働して実施している課題解決型アクティブラーニング科目」について ※ 2013年度のカリキュラムが対象です

### ① 本調査で対象とする「アクティブラーニング科目」とは

「グループワーク」、「ディベート」、「フィールドワーク」、「プレゼンテーション」、「振り返り」のアクティブラーニングの5つの形態のうちのいずれかが、全開講回数のうち延べ半数以上で実施されている。

### ② 本調査で対象とする「課題解決を目的とした科目」とは

解が一つではない課題の解決に取り組むことで学びを深める科目。PBL(※)やモノづくりの創成授業、専門ゼミ・専門研究などが該当する。  
解決すべき課題は教員から与えられる場合もあれば、学生自ら設定する場合もある。さらに学外から現実的な課題が与えられる産学連携や地域連携のケースも含まれる。  
(実験器具の扱い方や実験手法の習得を目的とする場合の実験科目や、知識の定着・確認を目的とする演習科目などは該当しない)

※PBLとは、課題発見・解決型学習のことで、学習者が自ら課題を発見し、その解決を図ることを通して学びを深めるような学習法のことです。

### ③ 本調査で対象とする「複数の教員が協働して実施している科目」とは

複数の教員が授業を担当しており、それらの複数教員によって授業設計、運営が行われている科目を指す。

上記の①～③の条件をすべて満たしている科目を、「教員が協働して実施している課題解決型アクティブラーニング科目」としています。

ただし、以下の科目については、除外してご回答ください。

<除外する科目>

- 一般教育科目としての、外国語、体育および情報（コンピュータ）リテラシー科目
- 就業支援科目

2011年4月から義務化された社会的・職業的自立に関する指導等には、面接指導、履歴書の書き方、資格取得講座などの「就業支援科目」と、学生の職業観、勤労観を育むことを目的としたキャリア形成支援に関わる取り組みなどの「キャリアデザイン科目」があります。このうち、「就業支援科目」は調査対象から除外してください。

## 1) 到達目標について

① 4年間を通じて学生が獲得すべき能力を、学部・学科の到達目標として具体的に明文化していますか？ 以下のいずれかに✓をご記入ください。

Ex. 知識や技能を測定するテストにおいて〇〇点以上を目標とする（定量的目標）

「〇〇できるようになる」ことを目標とする（定性的目標）

明文化している

明文化していない

↓明文化している場合は、以下の②③にもご回答ください

② ①で「明文化している」を選択された場合は、到達目標を具体的にご記入ください。Web上で公開されている場合は、URLをご記入いただければ結構です。

この到達目標を、学生に提示していますか？ 右のいずれかに✓をご記入ください（  提示している  提示していない ）

③ ①で「明文化している」を選択された場合は、学生がその到達目標を達成できたかどうかをどのように測定されているか、以下にご記入ください。

注) ご回答は添付のCD-Rのデータをご利用いただき、e-mailにてご返信いただければ幸いです。

## 2) 複数の教員が協働して実施している、課題解決を目的としたアクティブラーニング科目について

① 知識や技能の確認・定着ではなく、課題解決を目的としたアクティブラーニング科目の中で、「複数の教員が授業を担当しており、それらの複数教員によって授業設計、運営が行われている科目」について、以下に概要をご記入ください。

- ・専門演習・専門ゼミや卒業論文・卒業研究についても、複数の教員が協働してプログラム設計や指導、評価にあっている場合は以下にご記入ください。
- ・カリキュラム設計上は同じ位置づけの科目であっても、専攻や指導教員ごとに履修登録科目名が異なっている場合などがありますが、ここでは1科目としてご記入ください。

(例:「特別演習 A」「特別演習 B」「特別演習 C」から1科目選択必修だが、各科目で扱う分野が違うだけで、科目の目的が共通している場合は、「特別演習 (A・B・C)」で必修科目としてご回答ください)

※通期開講の場合には前・後期両方を○で囲んでください。  
 ※3学期制の場合、1学期は前期、2・3学期は後期として記入してください。4学期制の場合、1・2学期は前期、3・4学期は後期として記入してください。  
 ※複数の学年で履修が可能な場合は、履修を推奨されている学年、あるいは履修者が最も多い学年を記入してください。

※該当する選択肢に✓。なお、学科内の一部のコースや専攻で必修としている場合には「選択」としてください。  
 ※選択科目の場合は、卒業までに学科学生の何%が履修しますか? 該当する履修率を✓してください。

SAあるいはTAが、事務的な作業だけではなく、受講生に対して直接アドバイスを行うなどファシリテータとして授業を補佐していますか?  
 該当するものを○で囲んでください。

複数教員による協働の内容について、該当するものに✓を入れてください。(複数選択可)

学生の成績評価方法について、該当するものに✓を入れてください。(複数選択可)

【記入欄】

配置 Semester ※配置されている年次、学期を選択肢○で囲む	科目名 (専門ゼミ・専門演習・卒業論文科目・卒業研究科目も含む)	科目担当教員数 2人以上	開講クラス数	授業内容 (50字以内)	当該科目において活用する専門知識を伝達している科目  シラバスやカリキュラムマップにおいて当該科目との連携が明記されている科目があれば、ご記入ください	必修/選択		SA TA の 活用	複数教員の協働内容				学生の成績評価						
						必修	選択 →選択科目の場合 履修率 (%)		授業内容の企画	授業運営	教材作成 評価	試験・レポート 態度	プレゼンテーション	個人を評価する		グループ活動を評価する			
														学生による自己評価	アセスメント(※)				
年次	学期																		
	前期・後期							有・無											
	前期・後期							有・無											
	前期・後期							有・無											
	前期・後期							有・無											
	前期・後期							有・無											

※アセスメント：通常の試験以外で、学生のコンピテンス（能力）を測定するためのテスト（外部で開発された測定テストも含む）

(次ページに続く)

(続き) 複数の教員が協働して実施している、課題解決を目的としたアクティブラーニング科目について

配置 セメスター		科目名 (専門ゼミ・専門演習・卒業論文科目・卒業研究科目も含む)	科目担当教員数 2人以上	開講 クラス数	授業内容 (50字以内)	当該科目において活用する専門知識を伝達している科目  シラバスやカリキュラムマップにおいて当該科目との連携が明記されている科目があれば、ご記入ください	必修/選択		SA TA の 活用	複数教員の 協働内容				学生の成績評価				
年次	学期						必修	選択		⇒選択科目の場合 履修率 (%)	授業内容の企画	授業運営	教材作成	評価	試験・レポート	態度	プレゼンテーション	学生による自己評価
	前期・後期								有・無									
	前期・後期								有・無									
	前期・後期								有・無									
	前期・後期								有・無									
	前期・後期								有・無									
	前期・後期								有・無									
	前期・後期								有・無									

注) ご回答は添付の CD-R のデータをご利用いただき、e-mail にてご返信いただければ幸いです。また直接ご記入いただき、記入欄が足りない場合には当用紙をコピーし、それに記入してください。

### 3) 卒業論文・卒業研究（卒業制作、卒業設計等も含む）

チェック欄には該当する選択肢を✓してください。

番号	設 問	選 択 肢	チェック欄 ↓	ガイドにしたがって、ご 回答ください
①	卒業論文・卒業研究はありますか？	ある ----- ない	択一	→②へ ----- →□の設問に回答
②	卒業論文・卒業研究がある場合、それは全員必須（卒業要件）とされていますか？	全員必須とされている ----- 必須とされていない	択一	→◎の設問に回答 ----- →◆の設問に回答
③	卒業論文・卒業研究がある場合、その審査は誰が行いますか？	複数教員により審査が行われる ----- 担当教員のみ審査が行われる	択一	◎ ◆
④	卒業論文・卒業研究がある場合、審査（評価）において、明文化された審査（評価）基準チェックシートはありますか？	ある ----- ない	択一	◎ ◆
⑤	卒業論文・卒業研究がある場合、その発表はどのように行われますか（複数回答可）？	卒論（卒研）発表会 ----- が行われている ----- 卒論（卒研）発表会 ----- は行われていない 全員の口頭発表が行われている ----- 一部の学生の口頭発表が行われている ----- 全員のポスター発表・展示がある ----- 一部の学生のポスター発表・展示がある	複数 回答 可	◎ ◆
⑥	卒業論文・卒業研究が全員必須とされていない場合、学科1学年の学生数を母数として、卒業論文・卒業研究に取り組む学生の割合はおよそどのくらいですか？	20%未満 ----- 20%以上 40%未満 ----- 40%以上 60%未満 ----- 60%以上 80%未満 ----- 80%以上	択一	◆
⑦	卒業論文・卒業研究が全員必須とされていない場合、あるいは、卒業論文・卒業研究がない場合、他に学部・学科での学習の集大成となるような課題を課していますか。	要卒単位の取得以外には特に課していない ----- 課している ----- その他（記述） ゼミ論文、ゼミレポートなどを必須で課している ----- ゼミ論文、ゼミレポートなどを課しているが、必須ではない	選択	□ ◆

注) ご回答は添付のCD-Rのデータをご利用いただき、e-mailにてご返信いただければ幸いです。また直接ご記入いただき、記入欄が足りない場合には当用紙をコピーし、それに記入してください。

#### 4) リーダーシップの育成について

① 科目名または教育目標に「リーダーシップ」を含む科目を開講されていますか？ 以下のいずれかに✓をご記入ください。

開講している
--------

開講していない
---------

② ①で「開講している」と回答された場合は、以下の詳細をご記入ください。記入方法は、質問2)に準じますので、詳細はご確認ください。

配置 Semester ※配置されている年次を記入し、学期を選択肢○で囲む	科目名	1クラスあたり学生数	開講クラス数	授業内容 (50字以内)	科目担当者 該当する選択肢に✓。複数選択可	必修/選択		SA TA の 活用
						必修	選択	
年次	学期						⇒選択科目の場合 履修率 (%)	
	前期・後期				教授・准教授 専任講師 非常勤講師 職員 その他		x<20 20≦x<40 40≦x<60 60≦x<80 x≧80	有・無
	前期・後期				教授・准教授 専任講師 非常勤講師 職員 その他		x<20 20≦x<40 40≦x<60 60≦x<80 x≧80	有・無
	前期・後期				教授・准教授 専任講師 非常勤講師 職員 その他		x<20 20≦x<40 40≦x<60 60≦x<80 x≧80	有・無

③ 上記科目で育成している「リーダーシップ」とは、どのような能力であると定義されていますか。シラバス等での記載内容を、以下に具体的に記入してください。

上記のリーダーシップに関する記述において、次のような言葉を使っていますか？

「権限のないリーダーシップ leadership without authority」「シェアード・リーダーシップ shared leadership」「ピア・リーダーシップ peer leadership」

右のいずれかに✓をご記入ください ( 使っている 使っていない )

～以上、ご協力ありがとうございました～